



2025年8月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)



2025年1月9日

上場会社名 日本BS放送株式会社 上場取引所 東
 コード番号 9414 URL <https://www.bs11.jp>
 代表者(役職名) 代表取締役社長 社長執行役員 (氏名) 近藤 和行
 問合せ先責任者(役職名) 取締役 執行役員 (氏名) 松友 大輔 (TEL) 03(3518)1900
 配当支払開始予定日 —
 決算補足説明資料作成の有無 : 有
 決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2025年8月期第1四半期の連結業績(2024年9月1日~2024年11月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年8月期第1四半期	2,892	△2.1	545	44.4	549	45.0	365	47.1
2024年8月期第1四半期	2,954	△2.8	377	△38.9	378	△38.6	248	△40.7

(注) 包括利益 2025年8月期第1四半期 365百万円(47.1%) 2024年8月期第1四半期 248百万円(△40.7%)

	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益	
	円	銭	円	銭
2025年8月期第1四半期	20	51	20	49
2024年8月期第1四半期	13	94	13	92

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年8月期第1四半期	25,446	92.0	23,445	92.0	23,445	92.0
2024年8月期	25,894	91.1	23,598	91.1	23,581	91.1

(参考) 自己資本 2025年8月期第1四半期 23,411百万円 2024年8月期 23,581百万円

2. 配当の状況

	年間配当金					
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計	
	円	銭	円	銭	円	銭
2024年8月期	—	0.00	—	30.00	30.00	—
2025年8月期	—	—	—	—	—	—
2025年8月期(予想)	—	0.00	—	30.00	30.00	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2025年8月期の連結業績予想(2024年9月1日~2025年8月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
第2四半期(累計)	5,906	△0.5	957	3.2	970	4.2	660	2.8	37	04
通期	12,314	0.6	2,004	△3.8	2,032	△3.1	1,407	△3.3	78	97

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無
新規 — 社(社名) — 、除外 — 社(社名) —

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2025年8月期1Q	17,816,932株	2024年8月期	17,816,932株
2025年8月期1Q	237株	2024年8月期	237株
2025年8月期1Q	17,816,695株	2024年8月期1Q	17,810,598株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社グループが現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社グループとして約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件については、添付資料3ページ「1. 経営成績等の概況(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期連結累計期間の経営成績の概況	2
(2) 当四半期連結累計期間の財政状態の概況	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(会計方針の変更に関する注記)	7
(セグメント情報等の注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	7

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期連結累計期間の経営成績の概況

当第1四半期連結累計期間における我が国経済は、雇用・所得環境が改善する下で、各種政策の効果もあって、景気は一部足踏みもみられますが緩やかに回復しております。一方、欧米における高い金利水準の継続や、中国における不動産市場の停滞の継続に伴う影響等、海外景気の下振れが我が国における景気の下振れリスクとなっており、引き続き金融資本市場の変動等の影響を注視する必要があります。

当社を取り巻くBSデジタル放送業界は、動画配信サービス市場の拡大等で、ビジネスの機会が拡大する等、環境が大きく変化している中、テレビメディア広告費は、1兆7,347億円（前年比96.3%）となり、そのうち当社を含む衛星放送メディア関連の広告費は、1,252億円（前年比100.1%）となっております。（「2023年 日本の広告費」(株)電通調べ）

このような状況下、当社は「質の高い情報を提供することで 人々に感動を与え 幸せな社会づくりに貢献します」を経営理念として中長期的な成長を実現するため、重点施策「Value（バリュー）4」を掲げ、引き続き、「コンテンツ価値の向上」、「『稼ぐ力』の再構築」、「放送周辺事業の強化・発展」、「企業価値向上のための戦略的投資」をテーマに、放送事業に加え、その他の様々な施策に取り組みました。

[放送事業収入]

当第1四半期連結累計期間の放送事業収入は、2,573,323千円（前年同期比0.9%減少）となりました。

タイム収入は、ショッピング枠の売上が好調に推移いたしました。一方、前年同期に放送していた持込番組の終了等の反動減により、前年同期比微減での着地となりました。一方、スポット収入は、前々期より続いている通販市況の低迷において回復の兆しが見られましたが、前年同期比減収となりました。

番組施策として、季節の花の魅力やガーデニングの実践テクニックを紹介する『黒谷、お庭づくります』、女子ソフトボールリーグの王者が決まる『JD.LEAGUE2024 ダイヤモンドシリーズ』のセミファイナルとファイナル、アメリカ大統領選挙に密着した『SPF News Commentary 定点観測アメリカ大統領選』等の特別番組をはじめ、10月改編より放送開始した大人の歌謡&トーク番組『鶴瓶のええ歌やなあ』や、レギュラー番組『報道ライブ インサイドOUT』、『大人のバイク時間 MOTORISE』、『諸見里しのぶ 実践 ゴルフテク!』等が好評で、売上に寄与いたしました。

また、『京都紅葉生中継2024～今昔の文人が愛した絶景～』や『おいでよ和歌山 梅の魅力を探す旅 -みなべ町・田辺市編-』、『サイクリングにつぼん 宮城県 仙南地域』等、他の放送局や地方自治体と連携し、地域の魅力をお届けする番組も多数制作いたしました。

更に、「ANIME+」枠では制作委員会参画作品を含むアニメ関連番組を毎クール約40タイトル放送しており、エンターテインメント情報番組『アニゲー☆イレブン!』、アニメソング番組『Anison Days』、声優応援バラエティ『あんた売れないわよ!』、2.5次元俳優のトークバラエティ番組『植田鳥越 口は〇〇のもとTV Season3』等、多彩なラインアップで幅広いファンのニーズにお応えできるよう、様々な切り口でアニメ関連番組を放送いたしました。

日中帯を中心とするドラマ枠では、『星漢燦爛くせいかんさんらん』や『熱血弁護士 パク・テヨン ～飛べ、小川の竜～』、『名探偵ポワロ』、『深夜食堂 3』等、様々なジャンルのコンテンツを編成いたしました。

[その他事業収入]

その他事業収入は、319,424千円（前年同期比11.0%減少）となりました。配信コンテンツのラインアップを強化・拡充したことにより、配信事業収入が好調となったほか、「太田和彦のふらり旅 新・居酒屋百選Presents『太田和彦×角野卓造 いい酒いい話』」のチケット収入や物販収入といったイベント事業収入も売上に寄与いたしました。一方、アニメ制作委員会からの出資配当収入では、話題の大型タイトルが複数あった前年同期からの反動減が見られるなどし、その他事業収入全体で、前年同期比減収となりました。

[費用]

費用面では、前年同期に放送していた番組にかかる費用の反動減が見られたほか、2023年4月に実施した当社スタジオ設備更新にかかる減価償却費の負担が軽減する等、原価部門を中心に費用減となりました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は2,892,748千円（前年同期比2.1%減少）となりました。営業利益は545,176千円（前年同期比44.4%増加）、経常利益は549,275千円（前年同期比45.0%増加）、親会社株主に帰属する四半期純利益は365,353千円（前年同期比47.1%増加）となりました。

(2) 当四半期連結累計期間の財政状態の概況

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ447,894千円減少し、25,446,534千円（前連結会計年度末比1.7%減少）となりました。主な要因は、投資その他の資産に含めて表示している投資有価証券が995,264千円増加したものの、現金及び預金が1,224,804千円、受取手形及び売掛金が160,907千円減少したこと等によるものであります。

当第1四半期連結会計期間末における負債合計は、前連結会計年度末に比べ294,685千円減少し、2,000,837千円（前連結会計年度末比12.8%減少）となりました。主な要因は買掛金が102,033千円、未払法人税等が175,270千円減少したこと等によるものであります。

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は、前連結会計年度末に比べ153,209千円減少し、23,445,697千円（前連結会計年度末比0.6%減少）となりました。主な要因は、利益剰余金が、親会社株主に帰属する四半期純利益365,353千円の計上により増加したものの、前連結会計年度の期末配当534,500千円により減少したことに伴い169,147千円減少したこと等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年8月期の連結業績予想につきましては、2024年10月10日付の「2024年8月期 決算短信」で公表しました連結業績予想から変更ありません。

なお、業績予想は現時点において入手可能な情報に基づき作成しており、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年8月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年11月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	14,152,467	12,927,662
受取手形及び売掛金	2,230,431	2,069,524
棚卸資産	528,656	576,623
その他	130,028	120,800
流動資産合計	17,041,584	15,694,611
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,120,807	2,094,416
土地	4,034,756	4,034,756
その他(純額)	933,005	853,139
有形固定資産合計	7,088,569	6,982,313
無形固定資産	50,933	45,998
投資その他の資産	1,713,341	2,723,610
固定資産合計	8,852,844	9,751,922
資産合計	25,894,429	25,446,534
負債の部		
流動負債		
買掛金	793,066	691,033
短期借入金	—	30,000
未払法人税等	391,048	215,778
その他	982,863	936,581
流動負債合計	2,166,979	1,873,394
固定負債		
退職給付に係る負債	107,332	106,629
その他	21,211	20,813
固定負債合計	128,543	127,442
負債合計	2,295,522	2,000,837
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,190,714	4,190,714
資本剰余金	3,524,504	3,524,504
利益剰余金	15,865,996	15,696,848
自己株式	△234	△234
株主資本合計	23,580,980	23,411,832
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	69	8
その他の包括利益累計額合計	69	8
新株予約権	17,856	33,855
純資産合計	23,598,906	23,445,697
負債純資産合計	25,894,429	25,446,534

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2023年9月1日 至2023年11月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2024年9月1日 至2024年11月30日)
売上高	2,954,507	2,892,748
売上原価	1,629,016	1,421,600
売上総利益	1,325,490	1,471,147
販売費及び一般管理費	947,977	925,970
営業利益	377,513	545,176
営業外収益		
受取利息	0	1,732
受取派遣料	—	1,800
その他	1,542	621
営業外収益合計	1,543	4,154
営業外費用		
支払利息	195	54
営業外費用合計	195	54
経常利益	378,861	549,275
税金等調整前四半期純利益	378,861	549,275
法人税、住民税及び事業税	159,040	196,051
法人税等調整額	△28,474	△12,128
法人税等合計	130,566	183,922
四半期純利益	248,294	365,353
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	248,294	365,353

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年9月1日 至 2023年11月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年9月1日 至 2024年11月30日)
四半期純利益	248,294	365,353
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	—	△60
その他の包括利益合計	—	△60
四半期包括利益	248,294	365,292
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	248,294	365,292
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(会計方針の変更に関する注記)

(「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」等の適用)

「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」(企業会計基準第27号 2022年10月28日。以下「2022年改正会計基準」という。)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。

法人税等の計上区分(その他の包括利益に対する課税)に関する改正については、2022年改正会計基準第20-3項ただし書きに定める経過的な取扱い及び「税効果会計に係る会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第28号 2022年10月28日。)第65-2項(2)ただし書きに定める経過的な取扱いに従っております。なお、当該会計方針の変更による四半期連結財務諸表への影響はありません。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

当社グループには、BSデジタル放送事業以外の重要なセグメントがないため、セグメント情報の記載を省略しております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年9月1日 至 2023年11月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年9月1日 至 2024年11月30日)
減価償却費	149,902千円	117,467千円